

アスベスト

調査費用の一部を助成します

アスベスト(石綿)による健康被害が全国的に問題となっています。市では、市民の不安解消を目的として、下記の条件に該当する建築物を対象にアスベスト調査費用の一部を助成することになりました。調査を行う建物の所有者(管理者でも可)で、助成を希望するかたは、生活環境課環境衛生係までお申し込みください。

対象となる建築物

- ①民間の建物であること
- ②昭和30年から平成元年までに建設された建物
- ③室内または屋外に露出して、アスベストが含有している疑いのある建材が吹き付けされている建物
- ④平成17年7月1日以降にアスベスト調査を実施した建物

申し込み方法

「大館市アスベスト調査費用助成金交付申請書」にアスベスト調査費用の領収書、測定結果書(写)、検査個所の現場写真を添えてお申し込みください。
※申請書は生活環境課窓口にて備え付けのもの、または大館市ホームページからダウンロードしたものをご使用ください。

助成額

20,000円もしくは含有測定費用の1/3(いずれか低い額)※ただし建築物1件につき1回限りとします。

受付期間

10月3日(月)～12月22日(木)

測定結果の情報公開

交付申請書に添付された測定結果書により、大館市が取得した測定結果は、大館市情報公開条例に基づいた開示請求があった場合には、行政文書として開示されます。また、ほかの行政機関から照会があった場合は、取りまとめたデータの一部もしくは全部を使用することをご了承いただきます。

申し込み、お問い合わせ

生活環境課環境衛生係 ☎49-3111

(内線204、206)まで



市長レポート No.272

次世代にごみを残さない努力を

ごみ処理の問題を考えるうえで一番大事なことは、実は最終処分場の問題です。

最終処分場は、燃やせないごみなどを破碎し、埋め立て処理をしていますが、これは巨大なごみ置場のようなものです。埋め立てるごみが増えて、どんどん最終処分場を作るということは、今を生きる私たちのごみを次世代に残してゆくこととなります。そうならないように、出来るだけ今の最終処分場を延命させ、次世代に私たちのごみを残さないように努力するという視点で考えることが大切です。

このたび、ごみ焼却場「大館クリーンセンター」が稼働したことにより、7月からご家庭などから出るごみの分別が変わりました。クリーンセンターは、非常に効率良くごみを燃やすことが出来るため、燃やせるごみの品目を増やしたのです。その結果、ごみ全体の中で燃やせるごみの量が増え、最終処分場へ運び込まれるごみの量は確実に減っています。事実、最終処分場に運ばれた7月分のごみは、前月に比較して50%弱に、前年同月に比較すると、40%弱にまで減少しています。

クリーンセンターが稼働する以前は、現在の最終処分場の寿命が、あと10年ぐらいと言われていました。この分では、少なくとも今後20年以上は現在の最終処分場を使うことが出来るのではないかと考えています。

もちろん、ごみ自体の量を減らすことも、とても重要です。一人ひとりが、なるべくごみを出さず、再利用し、さらに資源として別の用途に活用することを考えなければなりません。例えば、食事は食べきれない量だけ作る。ハンカチを携帯し、手を洗ったあとは紙などを使わない。買い物ときにはバックを持参し、レジ袋を使わない。生ごみは堆肥化するなど、簡単なことでごみを減らすことが出来ます。

大館クリーンセンターの稼働と、市民の皆さんのご協力により、大館のごみ処理は将来にわたって安心出来るものになりそうです。私も、皆さんの先頭に立って、今後の環境問題に取り組んで参ります。

小 冊 子

